

Ⅶ スポーツ活動

1. グラウンドゴルフ【所要時間 85分～165分 60名】

(1) ねらい 所定の8ホールを班員が協力し合って回り、判断力・推理力・気力・体力を養い、グラウンドゴルフの知識と基礎技術を身につけさせる。

(2) 事前指導・準備

- 児童・生徒：身軽な服装，帽子，タオル
- 引率者：班編制（8名以内），安全確認係，救急薬品
- 所員：記録用紙，筆記用具，スティック，ボール，ホールポスト，スタートマット，マーク，ゼッケン

(3) 指導上の諸注意（引率者）

- 危険防止について十分注意させる。
- 植え込みや施設・設備を大切に、いためさせない。
- ルールを守らせる。

(4) 活動展開例

活動内容	時間(分)	児童・生徒の活動と活動への支援	備考
1. 集合，点呼をする。	5	●体調の悪い時は，引率者に申し出る。	●スポーツ広場
2. 活動内容の説明を聞く。	10	●班ごとに用具を受け取る。	●プレイホール
3. スタートする。	60 140	●スティックの持ち方，振り方，スコアの記入の仕方を理解する。	●スティック
		●安全面の指導を十分に行う。	●ボール
		●施設・設備や植え込みをいためないように十分注意する。	●マット
		●班ごとに仲良くスタートし，ルールやエチケットをまもってプレイする。	●ゼッケン
		●班数に応じて，1～8ホールに分かれてスタートする。	●記録用紙
		●安全確認係はコースを巡回して事故防止につとめる。	●安全確認係
4. 集合し，まとめをする。	10	●成績を発表し，活動全般について感想を話し，用具の後始末をする。	

①競技方法

- ア グラウンドゴルフは所定のボールを決められた打順にしたがってスタート位置から打ち始め，ホールポストに入れるまでの打数を競うものである。
- イ 競技中競技者は，いかなる打球練習も行ってはならない。反則は1打付加する。
- ウ 球が長い草，または木のしげみなどの中にあるときは，球の所在をたしかめる限度においてのみこれらのものに触れることができ，草を刈ったり，木の枝を折ったりしてはいけない。反則は1打付加する。
- エ 競技者が1打で球を2回打ったときは，2打と数える。ただし空振りの場合は打数に数えない。

- オ 球が紛失したり、コース外（溝などに落ちた場合）に出たときは競技者は1打付加し、動かしたその位置からできるだけホールポストに近寄らないで、打球可能な箇所に球を置いて次の打を行わなければならない。
- カ 競技の妨げになる球は、一時的に取り除くことを要求することができる。取り除くのは、球の持ち主が行う。その際、ホールポストに対して球の後方にマークし、取り除かなければならない。
- キ 競技者の球が同伴者の球に当たったならば、球の止まったところから競技を続け、同伴競技者の球は元の位置に返す。
- ク 風によって球がうごいたら、動いて静止した場所から競技する。なおホールポストに入った場合は“トマリ”とする。
- ケ 第1打で“トマリ”となったときは、その競技者の合計打数から3打差し引いて計算する。
- コ 人数は8名以内を1班として行なう。

②グラウンドゴルフのエチケット

- ア 競技者は自分の競技が終わったら、すみやかに次の競技者の妨げにならない場所に行く。
- イ 競技者が打つ前後は、話したり、球やホールポストの近くに、あるいは球またはホールポストの直後に立ったりしてはならない。また、自分たちの前を行く組が終わらなくては、球を打ってはならない。

③競技場見取図

スポーツ広場（プレイホール）

